

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズめだかのこころルーム			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～	2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～	2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園との連携を持つことで、支援の統一、切れ目のない支援が提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児に対して、月1回の保育所等訪問支援を必ず行っている。</li> <li>・給食の時間や、行事の訪問により、より具体的で直接的な支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な話し合いの機会を設け、より連携を深めていく。</li> </ul>
2	全職員保育士資格を持っており、保育士目線での子どもを見る視点、専門性、知識がある。	保育士を中心とした職員が、一人ひとりの『その子らしさ』を大切にし、苦しいことだけでなく、その子の得意な事を伸ばしていけるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等には積極的に参加し、トレーニングの質を高めていく。</li> <li>・他の事業所や医療機関、関係機関へも積極的に見学に行き、情報共有し、トレーニング内容などを参考にしている。</li> </ul>
3	全国展開をしているため、ケース検討、教材の数が多く、トレーニング内容を固定化しない工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有される情報を参考にし、集団トレーニングでは季節に合ったトレーニングやテーマを話し合っている。</li> <li>・職員間でアイデアを持ち寄って立案し、POCAサイクルを意識して実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きアプローチ手法にこだわらず、子ども一人一人に合ったトレーニングを考えていく。</li> <li>・リトミックやダンスなど音楽を使った活動、トレーニングを実践していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	連携園の利用児以外の外部の利用児が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の利用児に対して送迎がない</li> <li>・発信を含めた周知活動を積極的に行っていない</li> </ul>	弊社のシステム、HP、SNSの活用がまだ不十分。今後デコボコメンバーズの活用やHPの充実を図っていく。
2	専門職（理学療法士／言語聴覚士など）の職員がいない。	開所1年目でもあり、必要最低限の人数で運営している。	今後専門職の雇用も積極的に考えていく。
3	家族同士で関わる機会等保護者向けの取り組みが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には送迎で利用児をお預かりし、母子分離型でトレーニングを行っているため、保護者の来所回数が少ない。</li> <li>・ペアレントトレーニングなど保護者向けの取り組みを実践できるスキルがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子参加のイベント的なトレーニングを定期的に開催する。</li> <li>・保護者支援向けの研修に参加しスキルを身に付ける。</li> </ul>